



2026 年度

あいじ福祉会 黒部愛児保育園
TEL 52-4516

8月 保育園だより

あいじ福祉会の理念

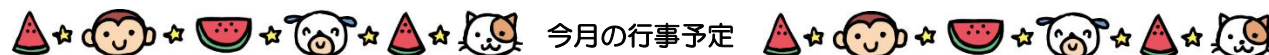
基本理念…乳幼児の最善の利益を図る

保育理念…人間性の優れた発芽と稔りを願う親の心を心とし、親の願いを願いとして、乳幼児ひとりひとりの生涯におよぶ幸せに寄与することを念願とする。

照りつける日差しに夏本番を感じる季節となりました。

子ども達は暑さを嫌わず、水シャワーを浴びながら歓声を上げたり、水の冷たさや感触を全身で味わう等、保育者や友達と一緒に夏の遊びを楽しんでいます。

今月はお盆の月でもあります。ご先祖様を敬い、今ある命や家族との繋がりに感謝する大切な機会です。子ども達にとっても、家族と過ごす時間を通して、人を思いやる気持ちや感謝の気持ちに触れる機会になることを願っています。



今月の行事予定

3(月)	七夕ウィーク 七夕について、年齢に応じた活動をします。 フレンズタイム 歌に合わせて「あいうべ体操」「足元気体操」「ラジオ体操」を通して健康増進と異年齢交流を図ります。	20(木)	避難訓練
	交通指導 毎月1日、15日は年齢に適した交通ルールを学びます。	24(月)	フレンズタイム 身体測定(至28日)
7(金)	陶芸教室(5歳児) 10:00～	25(火)	命ありがとう パパ・ママデイ 10:30～ 当月の誕生児をお祝いします。命ありがとうの日です。 ※3園合同研修会 18:00～
10(月)	フレンズタイム	27(木)	子育てサポーターシニアサロン 9:30～
11(火)	🇯🇵 山の日	28(金)	随時布巾持ち帰り シーツや枕の洗濯、乾燥をして、次週持たせて下さい。
17(月)	フレンズタイム 交通指導	31(月)	フレンズタイム ウエス回収(至9月4日)
19(水)	同窓会 10歳のつどい		<9月、10月の行事予定> 9/12(土)くろワン出発式(4歳児) 10/3(土)ふれあい運動会 詳細は後日お知らせします。

保育・教育

“子どもの生活は全て遊び”とも言われています。子どもの心と体の健やかな成長は、「面白そう」「やってみたい」「不思議だね」等、試行錯誤や工夫を重ねる遊びの中からいろいろな学びを得ています。

今回は、遊びの紹介や、子ども達が夢中になって遊ぶ様子をお伝えします。



0歳児 ひよこ組

“いない いない ばあ”が大好きな子どもたちは、保育者が「ばあ！」とすると、嬉しそうに声を出して笑います。他にも棚の影やトンネルから顔を出したり、わらべうたに合わせて大風呂敷を使ったりと、いろいろな遊び方で楽しんでいます。最近では保育者とだけでなく、友だち同士で「ばあ！」とし合う姿も見られるようになりました。少しずつ友だちへの関心が芽生えているようです。子どもたちが興味のある遊びを通して、人と関わる楽しさを感じられるようこれからも見守っていきます。



1歳児 りす組

絵カードに洗濯ばさみを挟む、外す遊びを楽しんでいます。洗濯ばさみをつまんで開いて挟む動作は指先の力や手先の発達を育てる遊びの一つです。子どもたちは、好きな乗り物やキャラクターの絵カードを選んで洗濯ばさみを挟むと、「できた！」と嬉しそうな表情になり、何度も繰り返しています。4、5月頃は保育者と一緒にしていましたが、繰り返し遊ぶうちに自分で洗濯ばさみを挟むことができるようになってきました。引き続き一人ひとりの発達に合わせて援助し、遊びを通して楽しみながら指先の発達を促していきます。



2歳児 うさぎ組

ブロックで構成遊びや恐竜のフィギアをミニカーに乗せて運んだりを楽しんでいます。以前までは近くで同じ遊びを楽しむ並行遊びが主でしたが、保育者の仲介を経て、最近では「Aちゃん一緒にしよう」「ここ公園にしよう」「これ恐竜のママで、これパパね」と友だち同士でのやりとりも増えてきました。子ども同士だからこそ面白い発想や展開もたくさん見られるので、今後も保育者の見守りの中で“友だちと遊んで楽しいな”と感じられるように、援助していきます。



3歳児 いぬ組

遊戯室で体を動かして遊ぶことはもちろん、遊具も大型ソフト積み木などを使いダイナミックな遊びをしています。大きな遊具を使うことで、友達と同じものを使ったり、動きを真似たりと友達の存在を意識しています。保育者が「これは、お家?」「どこに到着する道なのかな?」など言葉かけをすることで、子ども同士の思いを繋げる役割をしています。また、「入れて」「いいよ」など友達との関わりが増えるからこそ、トラブルがあり自分の思いが通らないことを経験します。一人ひとりの思いに共感し代弁するよう関わっています。



4歳児 くま組

暑い季節ではありますが、冷房を使用し、涼しい環境下で運動遊びが楽しめるようにしています。6月から始めたドッジボールは、形(ルール)を変化させながら経験を重ねています。そのことで、『どんな転がし方をすれば相手にボールが当たるのか』『ボールを取るにはどの位置で待つのがいいか』等、友達の動きやボールの転がる方向を見て、考え、行動するという成長の姿が見られます。その他に、いろいろなかけっこ遊びを日々楽しんでいます。そのことで“負けたくない”という競争心が少しずつ芽生えてきました。友達と一緒に楽しみながら体を動かすこと、競う楽しさや悔しさを経験できるようにしていきます。



5歳児 らいおん組

様々な集団遊びを楽しんでいます。集合ゲーム、平仮名並べゲーム、言葉集めゲーム等です。ゲームによっては、4～5人のチームを作ったり、それぞれのルールがあります。これらは全て、友達同士で声をかけ合ったり、力を合わせるという5～6歳の育ちが必要です。そして、ゲームなので勝つ時もあれば負ける時もあります。嬉しさ、悔しさどちらも経験し、その中で、自己コントロール力、コミュニケーション能力、忍耐力等、数値化できない力『非認知能力』を育てています。集団遊びは、一人では体験できない達成感や友達の良さ、友達と過ごすことの喜びを感じることができます。これからも多様な遊び、遊び方を通して、更に友達関係が深まることを願っています。